



## ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

### 1. 平成 25 年～26 年 河川管理レポートを作成しました

利根川上流河川事務所

利根川上流河川事務所では管理している河川の維持管理の取り組み状況について平成 25 年、26 年に実施した内容を『河川管理レポート』としてまとめましたので、公表します。

この『河川管理レポート』は、普段見えにくい河川管理の取り組みについてわかりやすく知っていただくために作成したものです。

また、『河川管理レポート』をより分かりやすく、親しみやすいものにしていくため、アンケートも併せて実施しますので、率直なご意見をお待ちしております。

なお、いただいた意見につきましては、今後の河川管理の取り組みの参考とさせていただきます。

■本文資料(PDF):平成 25、26 年利根川上流河川管理レポート

アンケート:下記URLよりアクセスし、回答をお願いします。

<https://ci.surveyenquete.net/wix/p98663659.aspx>

(実施期間:平成 27 年 3 月 25 日(水)まで)

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/tonejo\\_00000044.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/tonejo_00000044.html)

### 2. 群馬県伊勢崎市(利根川)で水防演習を開催します ～「第 64 回利根川水系連合・総合水防演習」～

関東地方整備局

河川部

利根川上流河川事務所

群馬県 県土整備部 河川課

伊勢崎市 総務部 安心安全課

第 64 回利根川水系連合・総合水防演習を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

#### 記

- 開催日時:平成 27 年 5 月 16 日(土) 午前 8 時 15 分～(受付開始)
- 開催場所:群馬県伊勢崎市境島村地先利根川左岸 177 キロメートル付近
- 演習内容:本文資料(PDF)のとおり

本演習は、昭和 22 年のカスリーン台風による未曾有の被害を教訓として昭和 27 年から始められ、国土交通省及び関東 1 都 6 県並びに開催市町村の主催により、毎年利根川水系の河川で開催しています。

演習会場の対岸には、世界遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」の田島弥平旧宅があります。

当日の演習会場では、建設機械の操作や降雨体験などの体験コーナー、水防新工法などの広報展示や地元協力者による物産展なども行う予定です。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/tonejo\\_00000045.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/tonejo_00000045.html)

### 3. 荒川ロックゲートの通行を再開します

～3 月 26 日(木)から船の通行止めを解除～

荒川下流河川事務所

船舶を利用される方々には、ご不便をお掛けしておりましたが機能を維持するための整備工事(平成 26 年度分)が完成したため、平成 27 年 3 月 26 日(木)から荒川ロックゲートの船の通行止めを解除いたします。

荒川ロックゲート(閘門)は、平成 17 年 10 月から一般利用して頂いておりますが、設置後 10 年を経過すること等から、平成 26～27 年度の 2 年間をかけて施設の整備を行い、今後の使用に万全を期することとしております。

なお、整備工事(平成 27 年度分)のため、平成 27 年度も下半期に、再び荒川ロックゲートの通行止めを行う予定です。

整備工事(平成 27 年度分)により荒川ロックゲートを通行出来ない詳細な期間は、決定後あらためてお知らせいたします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/arage\\_00000136.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/arage_00000136.html)

4. 圏央道 寒川北 IC～海老名 JCT 間 3月8日開通 <開通1週間後の速報>  
新たに開通した圏央道の交通量をお知らせします  
～つながる。まわる。圏央道。～ 国際競争力と成長を支える道路

横浜国道事務所

- 開通後1週間の交通量は平均17,100台。
- これまで開通していた隣接区間の交通量は、大幅に増加。
- 圏央道に並行する国道129号、県道相模原茅ヶ崎線で交通が転換。
- 開通による移動性の向上に伴い、新たな観光需要の喚起などの効果も現れ始めています。

【圏央道 寒川北 IC～海老名 JCT 間 の開通後1週間の交通量】

日付	日別交通量 寒川北 IC ～ 海老 名 JCT 間	備考	天候※1
3月8日(日)	2,300台	21時開通(3時間交通量)	曇一時雨
3月9日(月)	14,900台		雨時々曇
3月10日(火)	15,400台		曇時々晴一時雨
3月11日(水)	15,800台		快晴
3月12日(木)	15,800台		晴
3月13日(金)	17,100台	24時間交通量	晴

3月14日(土)	21,200台		曇一時晴
3月15日(日)	19,700台		曇時々晴
3月16日(月)	14,900台		曇一時雨

※1 天候は横浜市の昼の天気概況を記載(気象庁ホームページより)

※2 開通1週間後の交通量は平成27年3月9日(月)~15日(日)の日交通量の平均値

◇開通による主な効果◇

圏央道の整備により、東名高速や中央道などの放射方向の高速道路を結ぶ道路ネットワークが形成されます。広域的な人・物の交流により民需が拡大し、地域経済の好循環が生まれます。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yokohama\\_00000287.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yokohama_00000287.html)

**5. 新4号国道で唯一の春日部古河バイパスの2車線区間が4車線で開通します。  
平成27年3月26日(木)~27日(金)**

北首都国道事務所  
宇都宮国道事務所

平成27年3月26日(木)~27日(金)、新4号国道で唯一の春日部古河バイパスの2車線区間が4車線で開通します。

◇4車線化や圏央道の五霞ICとの接続による主な効果◇

整備効果(1) 民需の拡大と地域経済の好循環

今回の4車線化や圏央道の五霞ICとの接続により、沿道に物流施設や工場の立地が活発化される等、民間の投資や雇用創出が生まれ、民需拡大と地域経済の好循環に寄与することが期待されます。

整備効果(2) 国道4号の渋滞緩和

交通容量が拡大されることで、混雑の著しい国道4号の埼玉茨城県境付近の渋

滞緩和・定時性の確保が期待されます。

■4車線開通日:

平成27年3月26日(木)(埼玉県内)

平成27年3月27日(金)(茨城県内)

■区間:

国道4号春日部古河バイパス

埼玉県春日部市倉常～茨城県古河市柳橋間(延長17.3キロメートル)

北首都国道事務所及び宇都宮国道事務所のホームページ、ツイッターでも道路情報が確認できます。

ホームページ

: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kitasyuto/>

: <http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/>

公式ツイッター情報

: [https://twitter.com/mlit\\_kitasyuto](https://twitter.com/mlit_kitasyuto)

: [https://twitter.com/mlit\\_ukoku](https://twitter.com/mlit_ukoku)

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kitasyuto\\_00000108.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kitasyuto_00000108.html)

## ◆◆国土交通本省の動き◆◆

### 1. 積層ゴム支承に係る構造方法等の認定に関する実態調査について

国土交通省は、平成 27 年 3 月 19 日付けで、「積層ゴム支承に係る構造方法等の認定に関する実態調査」を別紙のとおり発出いたしましたので、お知らせいたします。

添付資料

[報道発表資料](#) (PDF形式 : 256KB) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/house05\\_hh\\_000543.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000543.html)

### 2. 次世代社会インフラ用ロボット開発・導入に向けた現場検証の「評価結果」について

国土交通省及び経済産業省は、労働力不足が懸念される中、今後増大するインフラ点検を効果的・効率的に行い、また、人が近づくことが困難な災害現場の調査や応急復旧を迅速かつ的確に実施する実用性の高いロボットの開発・導入を促進しています。

昨年 4 月より、「点検ロボット」及び「災害対応ロボット」の公募を開始し、産学官の各分野の専門家により、平成 26 年 10 月から平成 27 年 1 月にかけて 65 技術について、国土交通省の直轄現場等の 14 箇所で現場検証を実施して参りました。

今般、現場検証を踏まえた評価結果がとりまとめられましたのでお知らせ致します。

#### 【総評】

今回の現場検証において、開発された各種のロボットを、実際の現場で検証することで、実用におけるロボットの効果と課題が明確となりました。

今回の評価は、2カ年を予定している現場検証の中間段階の評価であり、特に、来年度実施予定の現場検証に向けた課題が明らかになり、更なる開発・改良が期待されます。

一方、既に現場への適用が推奨される技術も一部あり、これらの技術については、現場検証を通じたロボットの詳細な技術情報及び動画を公開し、適した現場において活用を促進することとしています。

【現場検証・評価数】

	現場検証数	実用検証技術※
全体	65 技術（91 検証項目）・64 者	39 技術（53 検証項目）・38 者
橋梁維持管理	17 技術（33 検証項目）・17 者	12 技術（25 検証項目）・12 者
トンネル維持管理	8 技術（12 検証項目）・8 者	2 技術（2 検証項目）・2 者
水中維持管理	14 技術（15 検証項目）・14 者	6 技術（6 検証項目）・6 者
災害調査	19 技術（22 検証項目）・19 者	13 技術（13 検証項目）・13 者
応急復旧	7 技術（9 検証項目）・6 者	6 技術（7 検証項目）・5 者

※ 実用検証技術： 現段階で実現場での利用可能性が高いと判断される技術であり、実際の利用を想定した現場検証を実施した技術。


（より詳しい内容につきましては別添 1 及び 2 をご参照下さい。）

また、応募技術の詳細情報及び現場検証の状況につきましては、以下の専用サイトに、動画及び写真を用いて掲示しております。

<専用サイト>

<http://www.c-robotech.info/>

添付資料

[別添 1 全体概要](#)（PDF形式：421KB）

[別添 2 評価概要](#)（PDF形式：331KB）

[現場検証の評価結果（橋梁維持管理部会）](#)（PDF形式：3825KB）

[現場検証の評価結果（トンネル維持管理部会）](#)（PDF形式：2382KB）

[現場検証の評価結果（水中維持管理部会）](#)（PDF形式：3396KB）

[現場検証の評価結果（災害調査部会）](#)（PDF形式：5414KB）

[現場検証の評価結果（応急復旧部会）](#)（PDF形式：2810KB）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo15\\_hh\\_000128.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo15_hh_000128.html)



### 3. 平成 27 年地価公示について

平成 27 年地価公示による地価の状況をとりとめましたので、お知らせいたします。

#### ●地価公示について

地価公示は、地価公示法に基づいて、国土交通省土地鑑定委員会が毎年 1 月 1 日の都市計画区域等における標準地を選定して「正常な価格」を判定し公示するものです。

地価公示の目的は、一般の土地の取引価格に対して指標を与えるとともに、公共事業用地の取得価格の算定等の規準とされ、適正な地価の形成に寄与することにあります。

※「正常な価格」とは、土地について、自由な取引が行われるとした場合におけるその取引において通常成立すると認められる価格をいいます。

各標準地の「正常な価格」は、土地鑑定委員会が、2 人以上の不動産鑑定士の鑑定評価を求め、その結果を審査し、必要な調整を行って判定します。

#### ●平成 27 年調査地点数及び価格時点

全国の標準地 23,380 地点（うち、東京電力福島第 1 原発事故に伴う避難指示区域内の 17 地点については調査を休止）についての平成 27 年 1 月 1 日時点の価格によるものです。

#### ●調査結果

調査結果は、土地総合情報ライブラリー（<http://tochi.mlit.go.jp/chika/kouji/2015/index.html>）にて公開しておりますので、ご覧ください。

※個別地点の価格については、平成 27 年 3 月 19 日（木）掲載予定（当日はアクセスが集中するため、非常につながりにくい状況が予想されます。）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo04\\_hh\\_000098.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo04_hh_000098.html)

◆◆地域の動き◆◆

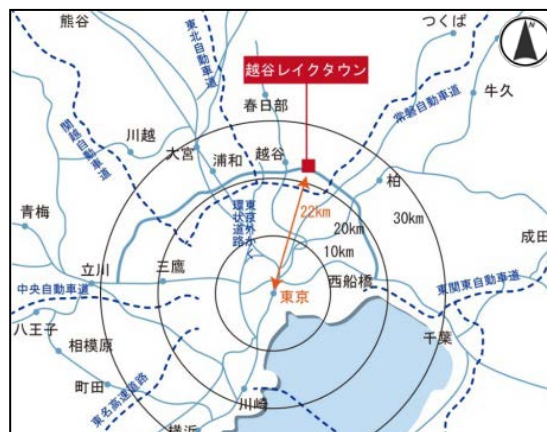
■まちづくりと治水事業で一体的に整備した「大相模調節池」について

埼玉県国土整備部河川砂防課

1. はじめに

事業期間約15年の年月を経て平成26年10月に完成した「大相模調節池」整備事業について紹介します。

大相模調節池は埼玉県の南東部の越谷市にあり、平成20年3月に開業したJR武蔵野線「越谷レイクタウン駅」を取り囲むロケーションにあります(図1、図5)。また、年間5千万人を集客する国内最大級のショッピングモール「イオンレイクタウン」にも隣接しています。



2. 事業の経緯

大相模調節池のある中川・綾瀬川流域は、低平地で水はげが悪く、これまでも大雨により度々浸水被害に見舞われてきました(図2、写真2)。一方で、この地域は、かつて田畑の広がる穀倉地帯でしたが、都心から20キロ圏内に位置していることから、ベッドタウンとして宅地化が進み、抜本的な治水対策が急務となっていました。

そこで、昭和63年4月に新市街地整備と治水対策(河川調節池の建設)を一体的に実施する「レイクタウン整備事業」が国の新規施策として創設され、越谷レイクタウン地区が事業採択されました。これは、全国初となる取組です。

事業にあたっては、埼玉県と独立行政法人都市再生機構(以下、UR都市機構)が連携し、埼玉県が元荒川からの導水路及び中川への排水路を整備しました。用地確保の円滑化、早期完成を図るため、導水路と排水路は地下水路(トンネル)としました。

また、調節池はUR都市機構が河川管理者である埼玉県の同意を得て、河川管理者に代わって施行することで、越谷レイクタウン特定土地区画整理事業による新市街地整備と一体的に整備しました。

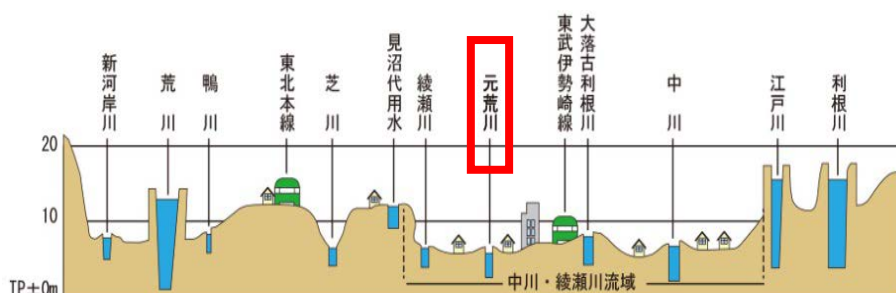


写真1 大相模調節池



写真2 平成3年9月台風18号(越谷市)

図2 断面図





### 3 施設の概要

洪水時、元荒川の越流堤を越えた水が導水路を經由して調節池に入り、洪水後に排水路を經由して中川へ排水することにより、流域の浸水被害を軽減します。面積約40haの調節池には深さ約3.5m分の洪水を貯水する計画で(図3)、容量にすると東京ドームに比敵する120万立方メートルにもなり、浸水面積を約400ha軽減する効果を見込んでいます(図4)。

また、大雨の際には、レイクタウンの地区内の雨水排水も直接受け入れることから、調節池周辺の浸水被害の防止にも大きく寄与します。

#### ○ 調節池

施工主体：UR都市機構

規模：120万m<sup>3</sup>、39.5ha

事業費：約347億円(県負担分を含む)

事業年度：平成11年度～平成26年度(16年間)

#### ○ 導排水施設 (図5)

施工主体：埼玉県(導排水路、越流堤、浄化水門、排水機場)、  
国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所(排水樋管)

規模：導水路0.86km(内径5.6m)、  
排水路0.66km(内径3.7m)

事業費：約93億円(UR都市機構、越谷市、草加市負担分を含む)

事業年度：平成12年度～平成26年度(15年間)

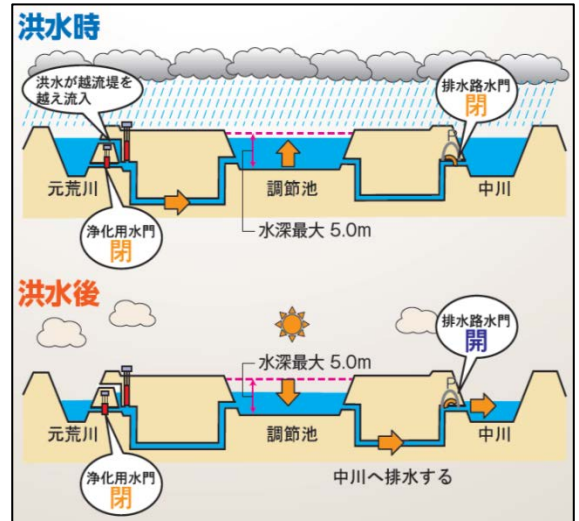


図3 洪水調節のしくみ

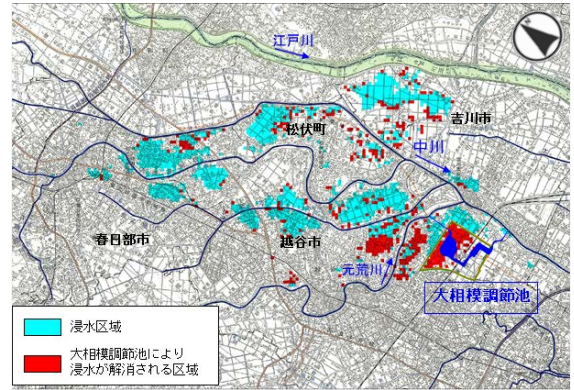


図4 浸水解消面積



図5 大相模調節池施設

#### 4 大相模調節池の利活用

まちづくりと一体となって整備したことにより、水辺空間と共生する良質な住宅や商業・業務・教育等の立地の促進にも寄与します。

普段は、1～1.5m 程度の水深を有し、ボートやカヌーなどの水上スポーツをはじめ、地域の方々のレクリエーションや憩いの場として活用されています。また、池のほとりにはビオトープや浮島があり、水生生物や水鳥の姿を見ることができます。



写真3 水面利用

#### 5 大相模調節池の維持管理

元荒川、中川は低平で東京湾の潮位の影響を受ける感潮河川です。水質の維持については、この自然の力(潮位の変動)を利用し、元荒川の水位が高い時は、元荒川の浄化用水門を開け、川の水を調節池へ導水します。中川の水位が低い時、浄化用水門を閉め、中川の排水路水門を開いて、調節池から排水します(図6)。おおよそ3日間で調節池の水が入れ替わります。このような仕組みにより、調節池の水の入れ替えを行い、水質を保持します。

維持管理と活用については、河川管理者である埼玉県及び包括占有者である越谷市が連携し、市民団体やNPO等の協力も得ながら、治水機能を確保したうえで、良好な環境を保ち、公園的な利用も図ります。

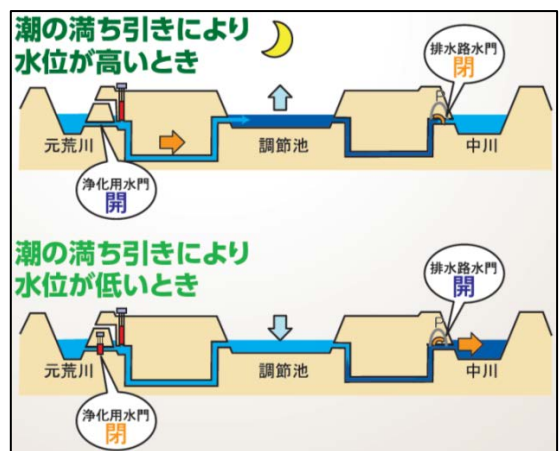


図6 水質維持のしくみ

#### 6 竣功記念式典

平成26年10月19日(日)に竣功記念式典を開催し、知事、UR都市機構理事長をはじめ、国土交通省水管理・国土保全局長、財産提供者など約200名の方々が参加しました。記念行事では通水式や久寿玉開披を行い、県立越谷南高校吹奏楽部による演奏やさくら保育園とボーイスカウト埼玉県連盟によるバルーンリリースで花を添えていただきました(写真4)。



写真4 竣功記念式典

#### 7 おわりに

埼玉県は、県土に占める水辺空間の割合は約5%、特に河川面積については3.9%で日本一です。今後も、この河川空間をいかし、県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現に向けて、治水対策と水辺環境の整備を両立させ、水害がなく、豊かな水辺空間にあふれた県土づくりを進めてまいります。

結びに、本事業に貴重な財産をご提供いただいた地権者の皆様を始め、事業にご協力いただいた地域の皆様、国や関係者の皆様に心から感謝申し上げます。